

<オールインワン英文読解②⑥> 英文解釈編①⑥

<問題19> (難) 下線部を日本語に訳そう。

If you are indecisive and plan to do something about it, you can take immediate comfort in the fact that indecision is not necessarily due to ignorance and slow thinking. On the contrary it is often thinking of so many things and consideration of so many doubts that result in the difficulty to reach and act on a simple decision. (東京大)

[文構造]

If you are indecisive and plan to do something about it, you can take immediate comfort in the fact that indecision is not necessarily due to ignorance and slow thinking.

On the contrary it is often thinking of so many things and consideration of so many doubts that result in the difficulty to reach and act on a simple decision.

()
→ () or ()かを判断!

[語句]

① indecisive インディサイシヴ	② plan to V
③ immediate イミディエイト	④ comfort カンファート
⑤ indecision インディシジョン	⑥ not necessarily ネセサリー
⑦ due to A	⑧ ignorance イグノランス
⑨ on the contrary	⑩ consideration コンシダレイション
⑪ result in A	() ⑫ difficulty ディフィカルティ
⑬ act on A	⑭ decision ディシジョン

[解説・ポイント]

①まず1文目 If 節から始まっていて、"If you are indecisive and plan to do something about it"までで、
と訳す。

②次に主節の部分、"you can take immediate comfort in ~"は
「~に即座の快適さを得ることができる」と直訳できる。

③in 以下は the fact that とあり、この形を見たら () を予測!
→ that 以下は () となる!

in the fact that indecision is not necessarily due to
ignorance and slow thinking.

that 以下は 完全文 なので 同格 となり、
that 以下の訳は、"not necessarily ~" が訳の骨格!
定になっていて、() と部分否
という事実 になる。

④よって、第1文の訳をまとめると、「もしあなたが優柔不断で、そのことに何かするつもりなら、優柔不断であるのは、必ずしも無知や思考の遅さのせい・ためとは限らないという事実、()」

最後の部分は、「即座の快適さを得ることができる」だと少し不自然なので、
「優柔不断=悪い」というわけではない、そんな事実 安心できるよというニュアンスを含んだ訳になっている。

⑤ 下線部の第2文について! まず, On the contraryという重要なディスコースマーカーから始まっている!

[ポイント]

ディスコース・マーカー [D.M.] は、() を示す重要マーカー!
逆接、対比・対照、結論・結果などを表す。

[ポイント]

"A on the contrary B" = 「

→ () を表す! () 働き!

※ A が (), B が () となるのが原則

(例) It is not true that technology isolates people. (否定文)

On the contrary, it often helps them stay connected. (肯定文)

「テクノロジーが人々を孤立させるというのは事実ではない」

「それどころか、それは人々をつなげる助けになることが多い」

前文 [= 優柔不断は無知や思考の遅さによるとは限らない] を受け、次にその内容を肯定で言い換えている!

⑥ では、次に続く文, "it is (often) thinking of ~ and consideration of ~ that..." の解釈だが、文頭が It is ... で始まる場合、次の3つの形がある。

[ポイント] It is ~ で始まったら...

① () の it → ()

② () による it → ()
→ ()

③ () の it → ()
→ ()

今回は、it is ときて、thinking of ~ and consideration of ~ と () のカタマリがきて that があり、後ろは () となっている!

⑦ it is ㊦ that + 不完全文の形は()のパターンと
()のパターンがあるので、どちらかを決めるにはもう1つのプロセス
を踏まなければならない。

[ポイント]

"It is ㊦ that + 不完全文" ときたら2パターンを予測!

→ ① () :

→ ② () & () の that :

⑧ 強調構文かとうかの判別ポイントは、「 」があるかどうか!

[ポイント]

強調構文はただ強めるだけではなく、「 」という対照関係
を示す働きがある!

→ () があれば強調構文!

第1文: ... indecision is not necessarily due to ignorance and
slow thinking.

第2文: On the contrary 「それどころか」

it is (often) thinking of so many things 「多くのことを考え」
and

consideration of so many doubts 「疑いを考慮する」

that [○] result in the difficulty to reach and act on a simple...
「簡単な決断に到達し、それに基づいて行動する難しさ」
=()

① 「優柔不断 = 必ずしも無知と考えが遅いとは限らない」(否定文)

② ()

「優柔不断の原因は、無知と考えが遅いことではなく、()を
考え、()を考慮する()」(肯定文)

④ 第1文と第2文で()があることがわかるので、今回の it is ㊦
that ~ は()だとわかる。

(解答)

[チェック問題]

<問題19>

If you are indecisive and plan to do something about it, you can take immediate comfort in the fact that indecision is not necessarily due to ignorance and slow thinking. On the contrary it is often thinking of so many things and consideration of so many doubts that result in the difficulty to reach and act on a simple decision.

- Q1. 1つ目のthatの働きは? A1. ()
- Q2. Q1の理由は? A2. ()
- Q3. not necessarily ~の意味は? A3. ()
- Q4. A on the contrary Bの役 A4. ()
割と、AとBの関係性は?
- Q5. It is ~ で始まる3つの形は? A5. ① () の it
② () の it
③ () の it
- Q6. 今回の文の it is は何? A6. ()
- Q7. A result in B の A と B は A7. ()
どういう関係?
- Q8. It is 名詞 + that + 不完全文 A8. ① ()
の2つの可能性は? ② ()
- Q9. 強調構文がどうかは何を確認? A9. ()